

JOYO
— 城 陽 —

会議所だより

2023
1 月号

発行所 城陽商工会議所
住 所 京都府城陽市富野久保田1-1
TEL 0774-52-6866
URL <https://joyocci.or.jp/>
発行人 生駒智史
編集人 広報委員会
1部100円（購読料は会費に含む）



言葉の力

整える

心身を整えてから、
森羅万象と接する。
すると人生が整う。

書道家 武田 双雲

目 次

■新年のご挨拶	1P
■商工業振興施策要望	5P
■各種補助金	6P
■活動報告(青年部/女性会/ 交通部会/青年部OB会/ 城陽トロン協会/人権実践講座)	7P
■常議員会/新入会員情報	8P
■トレンド通信	9P
■潮流を読む	10P
■縁Joy!情報更新のお願い/ 文パルケット/j-prosper	11P
■インボイ制度/新春講演会	12P

新年のご挨拶



〔生駒専務理事〕 〔中川副会頭〕 〔岩見会頭〕 〔堀井副会頭〕 〔木引副会頭〕



城陽商工会議所
会頭 岩見 悦明

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝で希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は商工会議所の様々な事業活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年11月の臨時議員総会におきまして、ご推挙頂き第14期会頭に就任いたしました岩見でございます。新体制のもと、任期であります3年間は、中川憲一氏、堀井裕司氏、木引一眞氏の3名の副会頭と生駒智史専務理事をはじめとした役員・議員そして会員の皆様方のご支援ご協力をいただきながら商工会議所の使命であります企業の繁栄、地域の発展の実現に向けて本年も全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の我が国の経済は、相次ぐコロナ感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵攻、原油高に加え急激な円安などの影響を受け低迷を続けたうえに、11月に発表された企業物価指数は前年同月比9.3%の上昇となり、8カ月連続で過去最高の物価高を更新する事態となりました。これらの要因は、地域経済にも大きな影響を及ぼす結果となり、当所が市内唯一の「総合経済団体」である役割を果たすためにはどのようにすれば会員の皆様のお役に立てるかを模索しながら活動を行ってまいりました。ここ数年のコロナウイルス関連の各種補助金、助成金、給付金等の申請等の受付窓口業務を地道に行い、伴走型支援を継続的に行ってまいりました結果、年末には当所開設以来最大の1,400を超える会員事業所数となり、組織の強化につなげることができました。

また、2020年から2年間、感染症拡大を懸念し中止の決断を行って参りました各事業につきましても、昨年は、社会がwithコロナに向けた新たな段階に進んだことを踏まえ、感染症の拡大予防に努めた形で再開し、とりわけ「JOYO産業まつり」の実施は、

〈次頁へ続く〉

新年のご挨拶

〈前頁より〉

市内外の皆様にもお楽しみいただき、同まつりの趣旨である市内商工業者と市民とのふれあいの場を創出するという目的を果たすことができました。

感染症の影響により落ち込んだ地域における消費を喚起することを目的に、市より委託を受けた「城陽市プレミアム付き商品券」の発行については、実施した3年間で、総額16億円を超える消費に繋げることができました。市内の事業所を紹介する「城陽日和」は第20号の発行となり、市民や会員事業所の皆様に好評価を頂き、地域経済回復の一端を担っております。

昨年秋には、会員企業や事業所と人をつなげるポータルサイト「縁joy!」をオープンし、併せて公式Instagramも開始いたしました。今後は、ご登録を頂いた方々に広く活用いただけるようなサイトを目指しブラッシュアップを図ってまいりますので是非多くの会員

の皆様のご登録をお願い申し上げます。

本年は、新たな生活様式や事業環境への適用を促進する事を目的に当所自体のデジタル化を進めますとともに会員の皆様の企業のデジタル化・DX化推進への支援の充実を図って参ります。

本市では、新名神高速道路の大阪～城陽間開通に向け着々と建設工事が進み、府内初となるプレミアムアウトレットの開業や、木津川運動公園北側ゾーンの整備、日本初となる専用ランプウェイが整備される基幹物流施設の開発など数々の大規模プロジェクトが進行しており、城陽のまちが発展に向け大きく変貌する大切な時期であります。当商工会議所といたしましてもこれらの整備促進に、行政をはじめ関係機関と連携しながら、地域の活性化に最大限努力して行かなければならないと考えております。

最後になりましたが、会員各位の益々のご健勝とご多幸、そして事業のご発展をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「日本再生・変革に挑む ～志を高く、新しい時代を切り拓く～」

明けましておめでとうございます。2023年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

(はじめに)

私は、昨年11月の会頭就任時に「日本再生・変革に挑む」とした所信を表明し、「変革の連鎖」によって日本再生を成し遂げるために全身全霊を傾けることを会員の皆さまに誓いました。また、その後、全国各ブロックの商工会議所の皆さまや都内の中小企業経営者と対話する機会を得て、「現場主義」と「双方向主義」を継承・徹底させていかなければならないとの思いを新たにしました。われわれ商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまの声を適切に政策提言や事業活動に生かしつつ、地域経済、日本経済の発展のために力を尽くしてまいります。

(当事者意識を持ち自己変革を)

さて、わが国は、過去20年以上にわたり物価、賃金、生産性がほぼ横ばいという停滞が続き、先進諸国に比して相対的に競争力は低下しています。さらに、昨年、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、世界的なインフレなど、大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いています。



日本商工会議所
会頭 小林 建

本年は、こうした大きな環境変化に対応しつつ、人口減少や少子高齢化、社会保障費の拡大、財政赤字、人手不足、エネルギー問題、さらには加速するデジタル化やグローバル化への対応などの構造的課題にわが国が正面から取り組み、成長軌道に戻していくための重要な年になると認識しています。足元では、複合的な要因による物価上昇・円安の影響で中小企業は厳しい状況に置かれていますが、われわれ、企業が成長の原動力であるという当事者意識を持ち、現実を直視し、果敢に自己変革に挑まなければ、この時代を生き抜くことはできません。今こそ、渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、企業経営者が積極的に行動を起こしていかなければなりません。

私は、経営者の責務は、経済価値、社会価値、環境価値の三つを同時に追求すること、即ち社会に責任を持ち、貢献することだと考えています。中小企業は、変化に対する柔軟な対応力を有しており、経営者と現場の距離も近く、経営者の理念を共有しやすい土壌があります。中小企業こそが自己変革と地域貢献・社会貢献の主役であり、日商の会頭として、私が先頭に立って自己変革に挑戦する中小企業のイノベーション創出と付加価値向上を通じた成長を支援、大企業と中小企業が共存共栄できる社会を目指していきたいと考えております。

〈次頁へ続く〉

新年のご挨拶

〈前頁より〉（企業の挑戦を支える環境整備を）

一方、政府の重要な役割は、企業の挑戦を支えるための環境整備にあります。特に「民間投資の強力な推進」「持続的に賃上げできる環境整備」「サプライチェーンの強靱化と経済安全保障」「多様な人材が活躍できる国づくり」の四つの対応を政府には求めたいと思います。資源を持たないわが国が持続的に成長するためには、競争力のある「科学技術創造立国」としての地位の確立を目指し、成長のエンジンとなる新たな産業分野へ投資を強力に促進していくことが不可欠です。そのためにも、政府は、新しい資本主義の重点投資4分野における官民の適切な役割分担、リスクシェアリングを図り、企業の成長期待を高めるとともに、十分な規模の政府支出、税制、民間投資を促す大胆な規制改革に取り組んでいただきたいと思います。

エネルギーに関しては、安定供給の確保とともに、2050年カーボンニュートラル実現に向け、GXの活用や原子力を含むエネルギー政策を政府が前面に立って推進することが求められます。さらに、中小企業が賃上げできる環境整備に向

けて、取引価格の適正化、デジタル化の推進等、生産性向上への支援強化が必要です。生産拠点の国内回帰を含め、多様化する供給網の整備も急務であり、〈次頁へ続く〉企業の予見性を高め、自由な経済活動を阻害しない経済安全保障に取り組むべきであると考えます。

（志を高く、新時代を切り拓く商工会議所に）

商工会議所としては、地域の第一線で活躍する会員企業の皆さまと共に、こうした課題や変化をタイムリーに察知し、商工会議所自らも変化に対応できる強い足腰を鍛え、「中小企業のイノベーション創出・成長支援」「大企業と中小企業の共存共栄の実現」「人と企業が輝く地域の創造」の3本柱の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年、日本商工会議所は100周年を迎えました。次の100年に向けて、本年が、「日本再生・変革に挑む」ための力強い一歩を踏み出す年となるよう、スピード感をもって実行していく組織、志を高く、新しい時代を切り拓いていく組織を目指してまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

「あたたかい京都づくり」へ邁進

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない～They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself～」。これは米国の芸



京都府知事
西脇 隆俊

術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年は卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいります。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

令和5年の年頭にあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。市内唯一の総合経済団体である城陽商工会議所におかれましては、本市産業の振興と発展に日夜ご尽力頂き、多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに深甚なる敬意と感謝を申し上げます。



城陽市長
奥田 敏晴

昨年は、新型コロナ、ロシアによるウクライナ侵略、ガソリンや食料品をはじめとする世界的な物価高騰など様々な課題に直面し、とりわけ中小企業、事業者を取り巻く環境は大きく変化し企業経営にも甚大な影響が生じたことと存じます。

このような状況を踏まえ城陽商工会議所におかれましては、事業者の経営改善支援や、各種給付金の手続き支援、更には3年ぶりのJOYO産業まつりを開催されるなど、多様な事業を展開いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

市といたしましても、目まぐるしく変わる社会情勢、そしてポスト・コロナ時代などを的確に見極め、事業者の皆様と共に歩み、寄り添い、しっかりと支援事業を展開してまいりますとともに、国・府とも連携しながら、地域の特性や魅力を高め、持続的な成長を目指したまちづくりを進めていく所存でございます。

現在本市では、新名神高速道路の大津～城陽間の開通に向けた工事が進められているほか、府内初となるプレミアム・アウトレットの開業も予定されています。また、木津川運動公園北側ゾーンについて整備に向けた検討が進められているなど、交流人口の増加が見込まれておりま

す。更に、東部丘陵地の先行整備青谷地区では、日本初となる高速道路インターチェンジに直結した専用ランプウェイが整備される基幹物流施設の開発計画が発表されるなど、関西圏の一大物流拠点として整備が進められているところです。

また、近鉄寺田駅西側につきましては、駅前広場の歩道舗装工事が完了し供用開始としており、JR山城青谷駅においても、駅舎橋上化や自由通路の整備が完了し、東側駅前広場の整備については令和5年3月の供用開始に向けて、そして西側駅前広場については新青谷線とあわせ、令和5年度上期の供用開始に向けて、工事を進めております。

これらの大規模なプロジェクトが進行する中、本市の産業振興計画「京都城陽産業かがやきビジョン」について有識者の皆様に参画いただきながら計画策定に向け取り組みを進めているところです。

さて、本市は昨年市制施行50周年を迎え、記念式典を開催いたしました。今日の城陽を築かれた先人の努力に感謝を申し上げ「歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽」の創造にまい進するとともに、この好機を逸することなく地域産業基盤の強化、地域産業の発展に取り組んでまいりますので引き続き、本市行政、とりわけ産業振興により一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

新しい年が、明るい幸せな年でありますよう祈念いたしますとともに、城陽商工会議所の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



注文住宅・リフォーム・不動産売買・仲介

「いつか住みたい」をかたちに



HIGASHIMOTO

東本建設 検索

住まいのことならお任せください 京都府城陽市寺田今橋 17-1

東本建設株式会社 TEL **0774-55-6666**



とらふぐ
白子焼き付コース
¥11,880 (税込)

焼きふぐコース
¥9,680 (税込)

てっちりコース
¥9,680 (税込)

ふぐ専門店 **仙羽亭** 0774-55-1008

令和5年度 商工業振興施策を奥田市長へ要望！

12月7日（水）奥田敏晴市長をはじめ市幹部と当所役員の懇談会を開催、令和5年度商工業振興施策について、城陽市の事業計画・予算に反映していただくよう要望を行いました。

管内商工業者を取巻く環境は依然として厳しい状況が続いているなか、城陽市と当所の連携をますます密にし、地域商工業の発展と地域活性化に向け、積極的に取り組んでいくことを確認したうえで、双方活発な意見交換を行いました。

令和5年度商工業振興施策要望項目は以下のとおりです。



▲岩見会頭から奥田市長へ要望書を提出

令和5年度 商工業振興施策要望項目

A. 活気あるまちづくりのための施策について

1. 新名神高速道路（大津・城陽間）を地域産業活性化につなげる取り組みについて

- ① 城陽井手木津川バイパスの早期整備について
- ② 寺田新池交差点から宇治田原間の側道の整備促進について
- ③ 建設工事に伴う地元業者の受注機会の向上について
- ④ 東部丘陵地整備計画に基づく整備促進について
- ⑤ 木津川運動公園北区域の早期整備について

2. JR奈良線の全線複線化実現に向けた継続的な取り組みについて

3. 駅周辺整備促進について

- ① 近鉄寺田駅周辺の早期整備について
- ② JR長池駅周辺の整備促進について

B. 産業振興のための施策について

1. 新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受ける事業者への支援について

2. 商工会議所・企業におけるデジタル化・DX化の支援について
3. 道の駅等観光・商業ゾーン創りに関して
4. アウトレットモール内への地元企業出店要望について
5. 農商工連携の取組に対する支援について
6. 労働力確保のための企業説明会に係る支援等の充実について
7. 地場産業の金銀糸業界活性化に対する支援について
8. 城陽ブランド力の強化を図る取組に対する支援について
9. 公共工事や物品購入時の地元事業者の積極的な活用について

10. 市内小売業者の振興と活性化に向けた事業に対する支援について

- ① 城陽市プレミアム付商品券発行事業の再実施について
- ② 「JOYOスクラッチ&クーポンわくわくセール」の継続支援
- ③ 「城陽日和」発行への継続支援
- ④ まちなか商店街にぎわいづくり事業への継続支援

11. 創業支援ネットワーク「城陽チャレンジスクエア」事業への支援について

12. 商工業振興事業費補助制度の継続

13. マル経融資制度に対する利子補給制度の継続

14. 特定退職金制度に対する補助制度の継続

C. 商工会議所組織強化への支援について

1. 市内商工業者の商工業団体並びに商工会議所への加入促進について
2. 産業会館の空調設備等の改善について

補助金のご案内

第2弾

城陽市事業者原油価格高騰対策支援給付金

※予算がなくなり次第受付終了となります

給付対象	事業に用いる四輪自動車を有する市内事業所		
給付額	事業に用いている四輪自動車1台あたり33,000円 ※第1弾で給付を受けた事業所も対象		
申請締切	令和5年2月14日(火) ※ただし、予算がなくなり次第、受付終了		
申請書類	①申請書 ②事業に用いる四輪自動車の車検証の写し ③事業のチラシやパンフレット、青色申告決算書の写し 前回(※)給付を受けられた方は、 城陽市より送付された『確認書兼給付申請書』による簡易な申請が可能です ※前回(第1弾)：令和4年7月25日から令和4年9月22日実施分		
申請方法	城陽市商工観光課にメールまたは郵送 メール：shokoshinsei@city.joyo.lg.jp 郵送宛先：〒610-0195城陽市商工観光課 ※郵便番号があれば住所記載不要		
お問合せ	城陽市まちづくり活性部商工観光課 Tel0774-56-4018		

小規模事業者 持続化補助金 (一般型)

対象事業	策定した経営計画に基づき、商工会議所の支援を受けながら実施する地道な販路開拓等、あるいは販路開拓等の取組とあわせて行う業務効率化のための取組。		
対象経費	①機械装置等費②広報費③ウェブサイト関連費④展示会等出展費⑤旅費⑥開発費 ⑦資料購入費⑧雑役務費⑨借料⑩設備処分費⑪委託・外注費 ※補助対象外となる経費※ 汎用性が高く目的外使用になりえるもの(車・オートバイ・自転車・文房具等・パソコン等) は補助対象外となります。		
補助率 上限	補助率：3分の2 (賃金引上げ枠のうち赤字事業者については4分の3) [通常枠] 50万円 [賃金引上げ枠] 200万円 [卒業枠] 200万円 [後継者支援枠] 200万円 [創業枠] 200万円 [インボイス枠] 100万円		
申請方法	電子申請システム (jGrants) または郵送	申請締切	【第11回】2月20日(月)
お問合せ	小規模事業者持続化補助金<一般型>補助金事務局 Tel03-6632-1502 (平日9:00~12:00、13:00~17:00 ※土・日・祝を除く)		



城陽商工会議所 経営実務 経 理 労 務 社 員 研 修

WEBセミナー

地域企業の皆様に各種セミナーを無料でPC視聴いただけます。

経営に役立つ
500
タイトル

活動報告

YEG NEWS

城陽商工会議所青年部

11月25日(金)、文化パーク城陽にて、ビジネスでのSNS戦略の学習を目的に、研修事業「人と人をつなぎ、経営に役立つInstagramの活用法」を開催。講師に永友一郎氏(ホームページコンサルタント永友事務所代表)をお招きし、総勢58名(城陽YEG37名、京都府内YEG21名)参加のもと、経営に役立つSNS戦略やInstagramの活用法について座学と実践を交えて学習しました。また、研修事業終了

後、京料理十両にて懇親会を実施。京都府内のYEG会員とデジタルとリアルの両面で交流を図り、会員同士の更なる団結や親睦を深めました。

今後も未来の城陽を支える青年経済人として、研鑽活動を継続的に行ってまいります。



商工会議所青年部OB会



11月28日(月)、京料理十両にて、青年部OB会交流会を開催。このたび、青年部OBの岩見悦明氏が当所の新会頭に就任され、お祝いと激励を兼ねて実施し、現役時代の思い出を語り合いながら親睦を深めました。

女性会だより

12月6日(火)、女性会会員であるあとりえピルツハウス飯田章乃さん講師のもと、毎年恒例となっている「フラワーアレンジメント講習会 素敵なお店づくりセミナー」を開催しました。参加者40名はそれぞれの個性を活かし、作品づくりに励みました。

2月にはパソコンセミナーも開催致しますので、こちらも是非ご参加ください。



城陽ドローン協会

11月28日(月)、木津川市と「災害時における無人航空機の運用に関する協定」を締結。

今後は災害等の緊急時、要請に応じ出動するほか、防災訓練やドローンパイロットの育成にも協力していく予定です。



交通部会



12月15日(木)アル・プラザ城陽にて「高齢者の交通事故防止推進日」による街頭啓発活動に参加。ご高齢の来店客を中心に、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実施を呼びかけました。

企業のCSR・人権担当者向け実践講座

公益財団法人 人権教育啓発推進センターでは、経済産業省中小企業庁の委託を受け、「企業におけるCSR・人権担当者向け実践講座」を令和5年2月15日(水)まで配信しています。

●人権ライブラリー・ウェブサイトからいつでもご視聴いただけます。

<https://www.jinken-library.jp/news/detail/106314/>

●事前申込不要・受講費無料

【お問い合わせ】

公益財団法人 人権教育啓発推進センター

「企業におけるCSR・人権担当者向け実践講座」事務局

TEL:03-5777-1802/FAX:03-5777-1803/

mail:csr@jinken.or.jp

企業の社会的責任(CSR)、人権啓発に関する各種パンフレットも無料で配布しておりますので、ぜひご活用ください。

常議員会を開催しました

11月25日(金)第228回常議員会を開催しました。概要は次のとおりです。

- ①令和5年度商工業施策要望項目(案)について
- ②地区の再編成について
- ③退任役員・議員への表彰状・感謝状の贈呈について
- ④第14期委員会構成について
- ⑤第14期顧問・参与について
- ⑥新入会員について

それぞれ原案どおり承認されました。

また、第43回JOYO産業まつりについて、城陽市プレミアム付き商品券発行事業について、新春講演会・交歓会について、委員会・部会・地区振興会等報告について報告を行いました。

新入会員情報【令和4年9月13日～令和4年11月24日】 ※掲載を承認された方のみ

事業所名	地 区	部 会	所在地	業 種
Boo Boo kitchen	久津川西	飲食	平川大將軍76-8	移動販売
Cocco coffee&Flower	富野東	飲食	長池北裏57	カフェ
加藤工務店	青谷	建設	中北堤63-3	建築大工
(株)萌和	寺田南	建設	寺田中大小20 ラ・ペルル城陽203号	建設業
(株)ユニシ	寺田西	製造	寺田大畔40-48	マジックテープ、包装梱包機材
fortune	寺田西	サービス	寺田樋尻48-47坂本ビル3F	脱毛サロン、美容サロン
ドックサロン 棚からぼくもち	寺田北	サービス	寺田水度坂5 Jビル1F	トリマー

カフェのように落ち着ける、アットホームな美容室*
あなたの「1番キレイ」を提供します。

STAFF 募集中!

intime hair

[アンティムヘアー]



◆ スタッフ大募集しています ◆

[営業時間] 9:00~19:00 [電話] 56-2260
[定休日] 月曜日・第3火曜日
城陽市平川山道28-1 (近鉄 久津川駅 徒歩7分)



一般葬・社葬ができる
大きな式場を完備しております

「上質なサービス」

「明瞭価格」

はるか 遙

セレモニーホール 城陽

駐車場完備

もしもの時は… 24時間体制

☎ 0774-63-0009 (代)

誠心堂 葬祭事業



「地域の活性化に期待高まる宇宙関連ビジネス」

日経BP総合研究所 上席研究員 渡辺 和博

先日、本州最南端のまち、和歌山県串本町を訪ねてきました。ここには民間初の宇宙ロケット発射場「スペースポート紀伊」が建設されており、2023年2月に第一号機の打ち上げが予定されています。東と南方向が太平洋に面してロケットの打ち上げに適した場所であることから数年前にロケットの発射場建設の話が出て、実現に向けて串本町や和歌山県も周辺環境の整備などに協力して完成したものです。計画ではロケットの打ち上げが本格化する25年には年間20機ほどの人工衛星がここから打ち上げられる予定になっています。地元では、公式に用意された観覧場所「ロケット見学場」を整備して観光資源にしたり、ロケット打ち上げや宇宙関連ビジネスに関するグッズをつくったりして、「ロケットの町」として地域を盛り上げようという動きが起きています。打ち上げ場がつけられた場所は、元をたどれば50年ほど前に原子力発電所の建設計画がありました。これについては住民の反対運動などがあり、計画は中止。長年その場所は活用されない状態でした。

串本町では、観光資源としてだけでなく、ロケットの組み立て工場や部品製造の工場などの誘致を含め、雇用や経済面での地域活性化に大きな効果があると期待しています。地元の県立串本古座高校では24年度から普通科内に「宇宙探求コース」を新設して、宇宙に関心のある若者を全国から集めたいと考えています。

宇宙関連ビジネスは地方の中小企業には遠い存在かと思っていましたが、そうでもないようです。先日、取材で訪れた鳥取県では、県内外の宇宙関連の企業や学校・団体などを集めた「とっとり宇宙産業ネットワーク」を立ち上げて、県内の中小企業が宇宙関連ビジネスを手掛けるきっかけづくりを支援していました。

実際に、宇宙関連の製品をつくっている、「MASUYAMA-MFG」という従業員4人の小さな町工場

を訪ねました。益山明子社長によると、主力の自動車関連事業が伸び悩む中、今後の成長が見込める宇宙関連分野に手を広げたそうです。新規参入には、今までとは違う新しい技術が求められましたが、補助金などを使って設備を導入し、注文に応えられるようにしました。宇宙ステーションに搭載される部品など、高付加価値で少量生産のものは、技術さえあれば、小さな事業者でもチャンスがあります。

もともと鳥取県は人口が少ない過疎の地域を観光で売り込むために、星空(宇宙)に目を付けました。田舎を売りにした観光面から始めてその後、宇宙に関連する事業をつくるという方向に力を入れるようになりました。宇宙関連産業は今後の成長が期待され、自動車産業のように、材料、加工、設計、組み立て、検査、ITなど幅広い分野の事業者が集まる裾野の広い分野だからです。

すぐに宇宙ステーションに製品が搭載されるようなものづくりとまではいなくても、地方の小規模事業者にとってもチャンスが生まれる分野だと考えられるでしょう。

城陽市産業会館（貸会議室）をご活用ください



詳しくは当所まで
専用電話52-5000

経済産業大臣指定伝統的工芸京佛壇・仏具

寺院総合企画・寺院用具・記念品企画・表具・漆芸品製作・修復

真心で常にご奉仕する



京 仏壇 誠心堂

城陽本店 平和堂アルプラザ城陽店前

☎ 0774-55-2365

営業時間：午前9時～午後5時 [駐車場完備]

京田辺店 田辺警察署東側

☎ 0774-65-5566

営業時間：午前10時～午後5時 [駐車場完備]

火曜日定休
但し、祝祭日は営業

お供・お線香 地方発送致します

香りとお念珠・仏具の専門店



AL PLAZA アル・プラザ
城陽店 ☎0774-55-2822
京田辺店 ☎0774-64-2221

楽しいお店 団体30名様まで

スナック りんぐベル

営業時間 20:00～24:00

城陽市寺田東ノ口 17-85
サニーライフ 2 1F

ご予約・お問い合わせ TEL 0774-55-2770

「高まる世界同時不況リスクの中で求められる政策の舵取りとは」潮流を読む

株式会社大和総研 金融調査部 主席研究員 内野 逸勢

国際通貨基金は「世界経済見通し2022年10月」で、世界同時不況リスクの高まりについて「最悪の事態はこれからだ。多くの人にとって23年は景気後退期のように感じられるだろう」と述べている。直近10月の世界経済見通しによれば、世界経済の成長率は21年の6.0%から22年には3.2%、23年には2.7%へと鈍化する。3大経済圏の23年に見込まれる成長率(カッコ内は21年)は、米国、ユーロ圏、中国がそれぞれ1.0%(5.7%)、0.5%(5.2%)、4.4%(8.1%)である。ユーロ圏ではドイツとイタリアがそれぞれ-0.3%(2.6%)、-0.2%(6.7%)と、成長率はマイナスとなる。日本は1.6%(1.7%)と予想されている。3%以下と予想されている23年の世界の成長率は世界金融危機と新型コロナのパンデミックが深刻だった一時期を除いて、01年以降で初めての低水準である。この背景には、インフレ圧力とロシアのウクライナ侵攻、新型コロナの影響が予想以上に広範化・長期化し、世界経済に重くのしかかっている点がある。加えて世界のインフレ率は21年の4.7%から22年には8.8%へと上昇し、23年には前年の水準より低下するものの6.5%と高い水準を維持すると「世界経済見通し2022年10月」は予想している。高騰する生活費は各国の国民が許容できない危機的な水準に達する可能性が高い。このためIMFは生活費危機への対処を各国政策当局に求めているが、それらの政策は困難なトレードオフを伴う可能性が高い。例えば金融政策の引き締めが不十分だと景気後退の恐れは減るが物価上昇が長期化するし、引き締め過ぎると物価上昇は抑えられるだろうが世界経済を不必要に厳しい景気後退に陥らせる。生活費危機に立ち向かう各国政府が難しい政策運営の舵取りを迫られる中、IMFの経済顧問のピエール・オリヴィエ・グランシャ氏は、適切な財政政策が必要だと強調している。1)インフレ抑制、2)長期化するエネルギー危機への対応、3)不安定な環境に対する適応性を高めるための投資を課題として挙げ、それらに関する基本的認識を次のように述べた。1)については「財政政策は、金融当局によるインフレ抑制の取り組みを妨げるような働きをしてはならない」としている。インフレ抑制と相反する財政政策はインフレを長引かせるだけで、深刻な金融不安定性を招きかねないとしている。2)についてはエネルギー危機は地域が限定された一時的な事象ではなく、広範かつ恒久的な事象であるとしてい

る。そのため財政政策は「的を絞った一時的な現金給付を通じて最も脆弱な層を守ることを目指すべきだ」としている。3)については財政政策は「将来の危機に対する強靱性を高める」ための投資に向けるべきだとし、人的資本の強化、デジタル化の推進、グリーンエネルギーの促進、サプライチェーンの多様化などの生産能力への投資の必要性を説いている。グランシャは「現在は必ずしもこうした重要な原則を指針として政策が立案されていない」との懸念を表明しているが、各国政府の置かれている状況は非常に厳しく政策の舵取りはますます困難になっていると考えられる。例えば米国の中間選挙では、上院では民主党、下院では共和党がそれぞれ過半数を獲得するという「ねじれ」状態を生んだが、選挙の主要な争点の一つにインフレ抑制策があった。ここまでのFRBのタカ派的な政策運営が選挙結果に及ぼした影響は現段階では必ずしも明確とは言えないが、国民経済にトレードオフを強いる政策は世論の分断を助長しかねない面がある。また英国では、インフレ抑制策に反する財政政策が、市場からの攻撃を受けて金融システムの安定が一時損なわれ、政権を退陣に追い込んだ。IMFの「原則」の妥当性が図らずも示された格好である。いずれにせよ、高インフレと低成長とのはざまに置かれた各国政府の政策運営の巧拙が問われる時期がしばらく続くことになろう。

謹賀新年



本年もよろしくお願いいたします!

左上より 甲斐真樹・曾我祐介・寺田豊治・長谷川江美
村田成子・角田承子・小田千康之・越野美子



京都営業所 宇治分室
〒611-0021 宇治市宇治琵琶 45-13
宇治商工会議所会館
TEL: 0774-21-1406

『縁Joy!』の情報更新をお願いします



城陽のお店や企業と
人をつなげるポータルサイト

縁Joy!

エンジョイ

掲載がまだの方

《登録方法》

- ①Google フォーム（右記のQRコード）
- ②掲載申込書（紙）※当所までご連絡ください

すでに掲載済みの方

内容をご確認いただき変更がある場合は、
電話（52-6866）またはメール（info@joyocci.or.jp）

掲載申込はこちらから



掲載無料

文パルチケット情報 10% OFF

コンサート **ニューイヤーコンサート**



日時 1月8日（日）
15:00開演
会場 プラムホール
料金 3,000円
⇒2,700円
※大学生以下は1,800円

コンサート **上敷領藍子 リサイタル**



日時 1月22日（日）
14:30開演
会場 ふれあいホール
料金 1,000円
⇒900円

映画 **異動辞令は音楽隊!**



日時 2月17日（金）
①10:30上映
②14:00上映
会場 プラムホール
料金 900円
⇒810円

パルクシネマ

j-prosper (繁栄)

株式会社コニシ



昭和53年より小西商店として梱包資材などの販売で創業し、昭和58年11月に法人成りました。面ファスナーのスリット、カット、プレス、超音波溶着、セットアップ、布などの生地加工を行なっております。面ファスナー加工を中心とした町工場として、これまで数多くの皆様と取引を行なっており、築いてきた信頼と実績のもとに、多様な加工業務を迅速に対応しております。弊社では、お客様との信頼関係を何よりも大切

に考えております。入念なヒアリングの後、資材調達から加工作業まで一貫してお任せいただけます。お客様ご自身でご用意された資材の加工や少ロットにも対応可能です。

また、弊社は、自由な意見やアイデアを気軽に申し出合えるアットホームな職場環境を大切にしています。若手からベテランまで、全員がやる気とやりがいを持ち活躍できる会社を目指し、一人ひとりが積極的にコミュニケーションを図り、日々の業務に楽しく取り組んでおります。

コニシでは、常に新しいことへの挑戦する姿勢や、お客様のご要望に柔軟に対応できるよう、これからも長く皆さまのお役に立てるよう邁進してまいります。



会員データ [代表]小西美絵 [住所]〒601-8145 京都市上鳥羽西浦町201 [TEL] 075-682-0676
[営業時間]9:00-18:00 [定休]土・日・祝(お盆休み・年末年始) [駐車場]あり(10台)

インボイス制度の準備はお済ですか? ~令和5年10月1日開始~

制度開始時に **インボイス発行事業者となるためには**
原則、令和5年3月31日までに
登録申請する必要があります!

- **インボイス発行事業者の登録は...** 課税事業者のみ受けることができます
 - **免税事業者の方も...** 事業実態に合わせて、インボイス発行事業者登録をご検討ください
- 当所では、「課税事業者」と「免税事業者」それぞれの立場における注意点や対応について、セミナーを開催します。
 【詳細：折込チラシ】

インボイス制度
と対策セミナー



令和5年1月16日(月)

課税事業者 向け
13:00~14:50

免税事業者 向け
15:10~17:00

カリキュラム

- ◆ **課税事業者向け**
 - ・インボイス制度の概要と影響
 - ・請求書の作り方・経理の話等
 - ・免税事業者との取引のデメリット等
- ◆ **免税事業者向け**
 - ・インボイス制度の概要と影響 (消費税の仕組み等)
 - ・課税事業者へ変わるメリット・デメリット
 - ・免税事業者のままのメリット・デメリット
 - ・取引先への周知 経理効率化等



新春経済講演会 / 中野 雅至 氏 ~コメンテーターとしてTVでおなじみ~

神戸学院大学 現代社会学部
 教授 中野 雅至 氏



混迷する日本経済と中小企業の課題 ~中小企業が生き残るために必要な政策とは~

日時 令和5年 **1月25日(水)**
 15:00~

会場 **文化パルク城陽**

会場定員 先着150名
 ※どなたでもご参加頂けます

お申込み・お問い合わせは指導課まで
 TEL:0774-52-6866
 【詳細：折込チラシ】

小規模事業者の資金調達を応援します。
~マル経融資のご案内~

無担保 無保証人 低利

- 融資限度額 / 2,000万円
- 金利 / 年1.13% (令和4年12月1日現在)
- 返済期間 / 運転7年以内・設備10年以内
- 担保・保証人 / 不要

■ **利用の対象**

- 常時使用する従業員が20人以下 (商業・サービス業にあっては5人以下) の法人・個人事業主の方。
- 1年以上商工会議所地区内で事業を行っている方で、商工会議所の経営指導を6ヵ月以上受けている方。
- ご利用にあっては審査があり、ご希望にそえない場合があります。

詳しくは当所経営支援員までご相談ください。

経営の悩み、専門家に相談しませんか?

無料

定期相談会

- 経営相談**【中小企業診断士】
1月11日(水) 13:30~16:00
- 税務相談**【税理士】
日程は要相談
- 労務相談**【社会保険労務士】
1月19日(木) 13:30~16:00
- 法律相談**【弁護士】
1月20日(金) 13:30~16:00

要事前予約。詳細・申込については、当所までご相談ください。